



越前町
ECHI ZEN

2012. 11. 1
vol.30

議会だより



織田まつり (だいずり)

おもな内容

- ☆9月定例会報告 …………… 2~3
議員定数削減、補正予算
条例制定・改正
- ☆一般質問 …………… 4~7
- ☆研修報告ほか …………… 8



八田子ども獅子舞い

発行・越前町議会 発行責任者・議長 山本清道 編集・議会広報特別委員会
〒916-0192 福井県丹生郡越前町西田中13-5-1
TEL (0778) 34-8712 ・ (0778) 34-8726

減の14人に決定

議員全員で構成する議会活性化特別委員会で協議を重ねた結果、議員発議により越前町議会議員の定数を定める条例の一部改正を提出し、議員定数を14人にすることを全会一致で可決しました。

委員会報告

地方自治法の改正により、人口規模による議員定数の上限が撤廃された状況や、昨年行った町民アンケートの結果を踏まえ、越前町議会及び議員の将来のあり方等について慎重に議論した結果、議員定数の削減を提案することとしました。

現下の厳しい社会経済状況を踏まえ、行財政改革の観点から、また、越前町の人口が減少傾向にある状況を鑑み、現在の議員の定数20人を、6人削減して14人とし、次の越前町議会議員の一般選挙から適用するものです。

若い人や女性が出やすい環境をつくり、定数を大幅に削減し報酬を上げることの必要性、町民の負託にどの

うこたえるべきか等の様々な意見がありました。町の厳しい財政事情を考慮し、定数は削減するべきとの結論に至りました。

議会は議決機関として大きな権限と重要な責務を担っております。

議員定数の削減により責務遂行の妨げとならないよう、議会が積極的に議論の場をつくり効果的な議会活動に努めることで、その責務が十分果たせるものと考えます。

また、議会がみずから改革を進め議員一人一人の資質の向上に努め、町政発展のために活動すること、町民の負託にこたえることができるものと思えます。



議席が6席減ります

9月定例会

召集 9月19日
会期 3日間

(19日～21日)

本会議では、報告を含め、条例の制定2議案、条例の一部改正3議案、補正予算8議案など合計24議案を全会一致で承認、可決しました。

また、議員発議で2件の意見書を提出しました。

各会計の決算認定については、決算特別委員会に付託したので、12月定例会で報告をします。

条例の制定

- ・越前町上水道事業の剰余金の処分等に関する条例
- ・越前町国民健康保険織田病院事業の剰余金の処分等に関する条例

以上2つの条例を新たに制定しました。

この2つの条例は、国の「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」による地方公営企業法」の改正に伴い、上水道事業及び織田病院事業の剰余金の処分等に関し、必要な事項を定めるものです。

条例の改正

- ・越前町コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例及び越前町生涯学習センター条例の一部改正

織田コミュニティセンターと生涯学習センター織田分館の所在地を11月に完成予定の新しい織田コミュニティ

ニティセンターの所在地に変更します。

- ・越前町児童館条例の一部改正

横山児童館(朝日地区)を廃止します。
・悠久ロマンの杜条例の一部改正
老朽化したパターゴルフ場とスーパースライダーを廃止します。

平成24年度9月補正予算 1億9712万1千円を増額

主な補正予算の内容

【一般会計】

項目	事業名	補正額	説明	担当課
総務費	安心で潤いのあるまちづくり事業	600万円	越前地区内にある防災・防犯上危険な空き家を取り壊す費用とその跡地を公園に整備(厨、新保地区)	防災安全課
	コミュニティセンター管理運営事業	1245万2千円	越前コミュニティセンターの屋上防水工事費	まちづくり課
民生費	予防接種事業	624万2千円	乳幼児のポリオ予防接種、四種混合予防接種委託料	健康増進室
農林水産業費	経営体育成基盤整備事業	6290万円	区画整理や水路・農道などの農業生産基盤や、集落道路などの生活環境基盤の整備を一体的に行うための事業で、越前東部地区(上川去、田中、気比庄地区)の追加事業分の負担金	農林水産課
教育費	小学校管理一般事業	2500万円	城崎小学校敷地内への落石防止工事費	学校教育課

【国民健康保険事業特別会計】

保険給付費	退職被保険者等療養給付費事業	2076万円	退職被保険者等の増加により、医療費も増加する(見込み)	住民課
	退職被保険者等高額療養費事業	910万8千円		

9月定例会報告

議員定数 6人

◆意見書

陳情2件を採択し、議員発議で提出された意見書を、関係機関へ送付しました。

●北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

1. 国においては、いかなる北朝鮮情勢の変動があっても、拉致被害者等の安全を確保する手段を講じるとともに、追加制裁の発動も含めた毅然とした態度で、日本人拉致問題の新たな現場調査も含め、早期解決に向けて全力で取り組むこと。

2. 拉致の可能性が否定できない特定失踪者についても、国として責任を持って真相究明を行うこと。

提出先
内閣総理大臣・外務大臣・国家公安委員会委員長(拉致問題担当)・衆議院議長・参議院議長

●地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

1. 二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築すること。

提出先
内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・農林水産大臣・経済産業大臣・環境大臣・国家戦略担当大臣・衆議院議長、参議院議長

9月定例会の議案採決結果

採決日: 9月21日 全会一致で全議案を承認・可決しました

※議案第75号から議案第85号の各会計決算認定については、決算特別委員会に付託しました。

報告第8号	専決処分の承認を求めることについて(和解及び損害賠償額の決定について)	議案第70号	平成24年度越前町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
報告第9号	専決処分の承認を求めることについて(平成24年度越前町一般会計補正予算(第2号))	議案第71号	平成24年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
報告第10号	平成23年度決算に基づく健全化判断比率の報告について	議案第72号	平成24年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
報告第11号	平成23年度決算に基づく資金不足比率の報告について	議案第73号	平成24年度越前町集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
議案第63号	越前町上水道事業の剰余金の処分等に関する条例の制定について	議案第74号	平成24年度越前町国民健康保険病院事業会計補正予算(第1号)
議案第64号	越前町国民健康保険織田病院事業の剰余金の処分等に関する条例の制定について	議案第86号	財産の無償譲渡について
議案第65号	越前町コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例及び越前町生涯学習センター条例の一部改正について	議案第87号	公有水面埋立地用途変更に関する意見について
議案第66号	越前町児童館条例の一部改正について	議案第88号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第67号	悠久ロマンの杜条例の一部改正について	議案第89号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第68号	平成24年度越前町一般会計補正予算(第3号)	議案第90号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第69号	平成24年度越前町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	発議第3号	越前町議会の議員の定数を定める条例の一部改正について
		発議第4号	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書
		発議第5号	地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

ん質問



笠原 秀樹 議員

介護保険制度の本町の特色ある取り組みを問う

笠原

この制度は介護を必要とする人を社会全体で支える新たな仕組みで、本年は第5期越前町介護保険事業計画がスタートしたが、具体的にどのように取り組んでいるのか。

町長

計画の中で地域包括支援センターが中心となって、地域包括ケア体制の充実を図ることを強調している。ひとり暮らし世帯、高齢者

のみ世帯の高齢者を地域で見守る「見守りネットワーク事業」で、その方たちに一番近い周辺の住民が民生委員、区長あるいは社会福祉協議会と連携することで、地域で高齢者を支えることができ、必要なサービスにつなげることができる。

また、特色ある介護制度として、軽度の認知症を持った高齢者の見守り事業として「いきいき教室」を幸若苑で行っている。これは、町独自の取り組みであり、簡単なリハビリやラジオ体操、お菓子づくりなど、一種



いきいき教室

の作業療法を通して交流する中で認知症の進行を遅らせることを目的としている。

笠原

介護保険料のアップについてはどうか。

町長

23年度の人口が2万3880人、その内65歳以上6,354人で高齢化率が26.3%で、要介護度の高い高齢者が増えている。介護給付費の自然増が見込まれること、介護報酬の改定で1.2%増えたこと、財政が非常に厳しいこともあり、介護保険料を上げざるをえなかった。

地域コミュニティ構想を問う

笠原

旧総合事務所を廃止して、新しくコミュニティセンターとしてスタートした。地域コミュニティとは、地域をみんなの力で自主的、主体的に住みよい環境にするため取り組み集団のことだと言われている。1年が経過したが23年

町長

度のコミュニティ活動をどのように検証したか。

第1次総合振興計画の前期計画が終わり、現在後期計画に入っている。前期計画が終わるときに町民を対象にした意識調査を実施した中で町民と行政の協働に

よるまちづくり、住民の主体的なまちづくり、活動を支える人材の育成についての評価が低かったことを踏まえて、地域コミュニティ構想を立ち上げた。

住民自治組織、NPO等の法人を新しい公共サービスの提供主体として考え、その主体と行政が協働してまちづくりを行うコミュニティがスタートして、1年が経過した。

現在、各地域で運営委員会や役員会等が活発に開かれ、研修や機関誌の発行も

小・中学校のトイレの洋式化についての方向性を問う

笠原

町内の公共施設、各家庭のトイレは洋式のところが多くなってきている。各小中学校のトイレの現状と洋式トイレへの移行についての考えを伺う。

教育長

小学校8校で身障者用も含め、児童用トイレが男女合わせて263カ所あるが、そのうち77カ所、率にして29.3%、同じく中学校4校で126カ所のうち51カ所、40.5%、小中学校全体では、32.9%の洋式化率となっている。

今後、各学校の現況と利用状況、児童生徒数の推移等を考慮して、全ての学校において、洋式トイレの割合を、現在の3分の1から3分の2程度まで引き上げていきたい。



山野 幹夫 議員

いっば

和解については議会、住民の意見を聞くべきでは

山野

合併当初から関町政に對して大変期待をしてきたが、その期待は2期目で大きく外れた。談合事件で責任を副町長に取らせる、当初予算では議会からの注意を聞き入れない、とここまで町政を混乱させたなら現職自身が身を引くようなものだが、3選へ意欲満々らしいとうわさされている。私が大きく期待外れをしたのは何点かあるが、特に町の活性化、地域の活性化にもつながる道路情勢についてである。

産業道路、観光道路は越前地区の生命線となる。越前地区は漁業と観光とで、今日まで支え合ってきた。観光が衰退すると魚価が下がり悪影響を及ぼすし、地域の活性化にながらぬ。特に観光はアクセスが最も重要であると思う。箱物に対しては、箱物行政と言っているほど力を注いできたが、道路情勢、特に越前海岸、越前地区を走る国道

305号については、何ら手つかずの状態ではなかったか。観光地を発展させるには幅員4メートルもない国道305号を整備することが喫緊の課題と思っているが、ここ8年間全く手つかずである。

そこで何う。新旧国道305号連結道路の件で6月定例議会に上程された議案第59号和解について、契約期限が終了しても土地を明け渡さなかった株式会社かねともから調停の申し立てがあった道路工事中止と事件について、平成24年3月30日に福井県、越前町、申立人の3者で和解の合意に至ったとあるが、非常に理解しがたい。当然合意に至る前に経緯を説明して議会または地域住民に理解を求めめるのが先ではないのか。

町長

調停の内容というものは決定した事項ではなく、途中経過の内容を、一回

一回説明して、議会の意見を聞いて調停に臨んでいると、細部が全然進まない。和解の合意内容は、6月の議員月例会で職員が説明しており、6月定例議会で議員の皆さんの賛成多数で決議をいただいている。

山野

北側へ道路を振ると傾斜も高くなり、既存の交差点から距離が余りなく安全性が損なわれるし、厨地区には多くの民宿、旅館があり、観光道路としても現在利用している連結道路を整備するよう千数百名の署名をつけて県に要望しているところであるので、町当局においても連結道路の建設に当たっては、これまでの既存の計画を白紙化し、安全・安心を基本としながら道路利用者及び地域住民と観光産業の発展を加味して建設できないか何う。

町長

連結道路の線形見直しも含めて工事の進行については、県が計画し策定するもので、関係法規に基づいて、地域の皆さんの同意、あるいは地域住

山野

民や道路利用者の利便性を勘案し、安心・安全を基本に計画を策定していただけだと思うし、その都度町にも相談していただけのもとの確信している。

当該有地の売買単価1平米当たり3万6,500円と北側の1平米当たり3万8,000円で売り渡すことが盛り込まれているが、先般町当局が県に売り渡した道口地区の土地は、1平米当たり7万円であったと思う。なぜこのような半額に近い単価になったのか。当然居座りたい株式会社かねともが7万円で購入するべきではないのか。

町長

不動産鑑定士による価格が3万8,600円となり、年数が経ち地価の下落もあるのです、その下落率も勘案して裁判所の調停員が調整して決定した価格であって、それを7万円で片方を買って、片方で半分近い値段で売却するのはなぜかと言われている。裁判所の調停の公平な見方で双方が合意した結果である。

山野

現在利用している連結道路を整備し、一部の者が駐車場に使っているポールを取り除き、厨温泉街に入りやすい線形にかえていただきたい。A1タイプの温泉看板やわかりやすい交通標識を設置するなどして、ごね得を許さず行政として町民全体に平等であってほしいと思うが、町長の所見を伺う。

町長

道路線形の見直し、あるいは連結道路の工事については、関係法規に基づいて、安全・安心を第一に考えて工事を進めるというのには県の見解であり、そのことを我々が疑ってかかることはできない。

周辺住民からの苦情は、連結道路がきちんとできていないための苦情ではないかと考える。県が地区住民の理解も得た上で安全・安心を考慮して、関係法規に基づいて工事を進めている。進めるに当たっては安全・安心を基本に、道路利用者の利便性を最優先するという確約をいただいているので、町としても協力をしていく。

ん質問



村上 義人 議員

各地区コミュニティセンターの設置効果は

村上

地域コミュニティセンターの構想に基づくまちづくりは、地域の活性化を図る意味からも、その自主的な活動はとても大切であり、町の基本的な考え方は十分に理解し評価している。ただ、町長が導入を決断したときに考えていたイメージと現在の運営状況に、もしギャップを感じているならば、そのギャップの内容と原因、対策をお聞かせ願いたい。

もし町長の期待を裏切るような結果が予想されるのであれば、今のうち軌道修正を図った方がよいと考えるので、あえて質問させていただきます。

町長

4地区によって取り組み方に若干のばらつきはあるが、結論から言うと全くギャップがあるとは思わない。地区によってその取り組み方にいろいろ

りと特性があるのは当然であって、その地区の個性と言えば個性であるし、その地域の抱えている課題というのがそれぞれに違うわけで、取り組みも違って当然であると思っている。

コミュニティ運営委員会の自主性に任せており、自主自立、まちづくりに意欲を持った皆さん方が数十回にわたる議論の中で、課題を見つけ、活動内容につなげていったというところは、学ぶことが非常に多かったと思う。そして、町民の力、活力というものを信頼するということが非常に大事であるということに改めて実感した。

これからは、こうした取り組みをいろいろ試行錯誤していく中で、新しいリーダーが誕生してくると大きな期待をかけており、側面からサポートしていきたいと思っている。

越前サブコミュニティセンターの活用はいかに

村上

越前サブコミュニティセンターは、現在シルバー人材センターに施設の管理を委託しているが、ただ単に施設の貸し借りだけで、体育館や公園のような扱いとなっている。ご存じのとおり、この施設は人が集まり、地域の活力源となり得る活動ができる施設内容となっているが、その意味から考えると現在の利用状況は大変危惧している。

越前コミュニティセンターとの兼ね合いもあるが、ぜひとも越前サブコミュニティセンターの施設を核とした積極的な活用を考えていただきたい。ちなみにこの施設の周辺には、地域福祉センター、児童館、保育園など社会福祉施設が集積されているので、これらの施設と連動させ、主に子供たちの成長に合わせた交流の活動拠点として、越前地区のキッズセンターとして活用することも可能ではないかと考えている。

なお、この施設は、災

町長

ご指摘のように、今の利用状況については大変危惧している。私も非常にこれは重い課題だと思っている。

サブコミュニティセンターで行われていた社会教育、生涯学習機能は、全部コミュニティセンターに集約されたので、それだけ利用が少なくなっており、どのように活用する

かについては、庁内であるいは議員の皆さんとよく相談し検討していきたい。また、地域で活用に関する検討委員会を立ち上げ、議論をしていただくということも必要かと思う。

越前地区は海洋文化が特徴ではないかと思うので、歴史資料館のような性格を持った施設、あるいは音楽や芸能ができるような小ホール、ギャラリー的な機能を備えたもの、それに加えて、ご指摘のような防災機能をあわせ持つコミュニティセンターにないような機能を持つた多目的な施設として再生することがいいと考えている。

今後の利用の仕方については、これから議論を重ね検討していきたい。



サブコミュニティセンター



サブコミュニティセンター内部 (旧図書室)



吉村 春男 議員

いっば

海底耕耘事業の継続は

吉村

平成11年度から実施されている海底耕耘事業は、海を耕して漁場の改善を図るもので、漁獲量が増える見込みがあるなど漁業関係者は非常に喜んで

いる。その反面、多額の費用を要するため、厳しい財政事情の越前町で、来年度も実施できるのか、近年の漁獲量の不安定さや市場価格の低下などにより収入が安定せず、後継者不足などの問題があり非常に状況は厳しい。しかし、漁業は越前町にとって重要な産業であるので、海底耕耘事業は来年度以降も継続してほしいが、町長の所見を伺う。

町長

福井県のブランドとして、全国津々浦々に響いているのは越前がにのみであり、あちこちの食材を食してみても、やはり越前町の魚ほどおいしい



海底耕耘で使用する漁船

ものはない。越前町の漁業は福井県全体の漁獲高の3割強を占めており、不転の決意で支えていかななくてはならないと考えている。海底耕耘事業は平成17年度から26年度までの10年間の取り組みとして、国、県の水域環境保全創造事業の補助で進めており、27年度から36年度までの次の10年間についても、これまで同様海底耕耘事業の実施を、国に要望している。これからの引き続き水域環境の保全に取り組み、越前町の柱である漁業を支えていくという決意に変わりはない。

緊急時に対する消雪設備の整備をどうする

吉村

越前地区と織田・宮崎地区を繋ぐ国道365号、県道武生米ノ線、県道越前織田線は、越前地区の住民にとって通勤、通学にとどまらず、生活に欠かせないいわば大動脈であり、緊急時の避難や生活物資を運ぶためにも冬の雪どきでも支障なく通行できるように消雪設備の整備が必要と思うが、いまだに整備されていない区間が非常に多い。

東日本大震災以降、災害発生時の対応には住民の方も関心があり、防災

吉村

次期町長選挙に出馬する気持ちがあるのか何う。

町長

町民の皆さんに許され

町長

行政無線や避難路の整備など、越前町でも様々な事業を実施をしているが、こうした重要な道路がどんな季節でも支障なく使えるよう消雪設備の整備は重要と考える。

国道365号、国道417号、県道越前織田線、県道武生米ノ線は避難道路、緊急輸送道路、生活道路あるいは観光道路として非常に重要な道路であるが、いずれもカーブが多くて急勾配であり、冬季には降雪も

吉村

多く路面も凍結するので、消雪設備の整備については以前から要望しており、引き続き要望をしていく。ただ、水の確保が難しいことがこの路線の問題点であるが、県への要望はこれからも続け、実現できるように努力していく。

国道・県道であっても、越前町にある道路はほとんど越前町民が利用するため、余り弱腰にならないで、国・県へ強く要望していただきたい。

次期選挙出馬の意思は

吉村

次期町長選挙に出馬する気持ちがあるのか何う。

町長

町民の皆さんに許され

るのならば、これから10年先を見通した維持可能な足腰の強いまちづくりに向けて全力を傾けて取り組んでまいりたい。出馬をさせていただきたい。1、定住人口と交流人口の増加ということ。

- 2、企業の誘致と雇用の創出。
 - 3、教育の振興。
- この3つを柱に農林水産業のような一次産業、伝統産業の振興と、地域の資源に磨きをかけ、ふるさと越前町の限りない発展を目指して全力を挙げて取り組んでいきたい。ぜひ、議員の皆さん方のご理解、ご協力をお願いしたい。



議会運営委員会委員研修報告

議会運営委員会委員長
内藤 俊三

研修日:9月26日・27日

研修先:長野県小布施町議会

研修の目的

議会が地域主権の立場に立って町民益を追求し、主導的・機動的に活動することで、議会の活性化を目指すとともに、町民福祉の向上の為一層見識を深める必要があるため、通年議会を実施し、議会の活性化を図っている長野県小布施町議会を視察しました。

研修内容

●通年議会の運用について

- 通年議会実施要綱
- 専決処分について
- 議会開催状況
- 請願、陳情について

研修を終えて

小布施町議会は議会の会期を1年間とする通年議会を平成22年から実施しています。

通常は定例会や臨時会ごとに会期が決められます。これにより、常時議会を開会することができるのと同時に、委員会が行う審査や調査がいつでも行えるようになります。

また、町民の皆様の要望にあたる請願書や陳情書も年4回の定例会で行っていたものがいつでも審査することができます。迅速な対応が可能となります。

今回の研修を参考にし、通年議会の実施を検討していきたいと思っております。



小布施町での研修

赤い羽根共同募金に協力しました。

越前町議会は、10月1日から年末にかけて、全国一斉に展開されている「赤い羽根共同募金」に募金しました。

赤い羽根共同募金は、社会福祉協議会が行う福祉活動・ボランティア団体や福祉団体が行う活動・障害者の支援など社会福祉の充実に役立てられます。



山本議長から募金を受け取る
社会福祉協議会宮崎会長

秋田県議会総合防災対策 調査特別委員会が視察

日 時:10月10日(水) 午前9時30分～

視察内容:不良空家住宅の除却とポケットパーク整備について

越前町が行っている防災・防犯上危険な空き家を取り壊し、地域の憩いの場とするポケットパークを整備する事業(越前地区限定)を視察に來られました。



防災安全課の説明を受ける秋田県議会の方々

12月議会の傍聴をしてみませんか

日程については、議会事務局にお問い合わせください。TEL34-8712

編集後記

今年の夏の暑さは尋常ではありませんでした。夏にたっぷり日光を浴びた葉は色づきがよいので、燃えるような鮮やかな紅葉が期待できるのではないのでしょうか。

しかし今年の秋は短いとのことなので、早めに紅葉を楽しんでください。

越前町議会議員の任期も3月12日までで残すところ4月余りとなり、私たちが議場に立つのも12月議会のみとなりました。

次の一般選挙から議員定数を6人減らし14人とする事も決まり、人口減少と町の財政状況が厳しい中、議員の責務は重大となってきました。

現委員での議会だよりの編集もあと一回となりました。30号まで発行できたことを、委員一同お礼申し上げます。(吉村)

議会広報特別委員会

- 委員長 上坂 昭夫
- 副委員長 橋本 守行
- 委員 吉村 春男
- 委員 北瀬 文春
- 委員 鈴木 文夫
- 委員 武藤 吉夫
- 委員 笠原 文夫
- 委員 田原 文夫
- 委員 黒田 文夫

バックナンバーが町のホームページでご覧いただけます

http://www.town.echizen.fukui.jp/webworks/web/info/result.jsp?category_id=187